

目次

— 『風』『談論風発』	2014	『風』『談論風発』	2015より
	4	Ⅷ	—

暮らしの楽しみとしての地域・郷土資料	1
『つながる図書館』と「図書館」無料貸本屋」批判	7
「交流」や「広場」という言葉の曖昧さ	20
開館日増、開館時間延長の結果は？	26
図書館について学ぶことの意義——学生のみなさんへ	33
図書館を楽しく使い、仕事にも役立てる直木賞作家	39
もの静かなお客さま	45
ルーマニアの村の図書館、日本の図書館	51
指定管理者制度と、生きがいのある仕事	57
図書館はビジネスではない——「打って出る」図書館員の危うさ	63
寺門静軒『江戸繁昌記』再々読	69
武雄市図書館再訪、一年半を経た図書館の実状	75
繰り返される図書館批判と貸出数の減少	96
図書館のピケティ現象と予約サービスのアマゾン化	104

貸出と予約の数値——その相関とサービス評価は	110
なぜ『日本の図書館』の統計数値には誤りが多いのか	118
『絶歌』の出版と図書館の対応	140
『絶歌』の収集・提供で萎縮する図書館	147
活気がない図書館、利用を伸ばしている図書館	151
『絶歌』問題で思い出す、過去の事件への対応	157
海老名市立中央図書館の問題は何か——図書館と書店、CCCとTRC	163
民営化は図書館を発展させていない——「ほどの図書館」への過大評価	174
あとがき	201